

KANDAI STYLE

留学生別科生に聞きました あなたの国の 年末年始を教えてください

特集

みんなで一緒に考えよう。【関大誌上教室】
「成人年齢」を考える

【働く関大人】放送業界／報道記者
株式会社 毎日放送 吉川元基さん

【今月のシングさんアクトくん 関大生の友の輪】
環境都市工学部3年次生 堀井登文さん

【VIVA!学び場】社会安全学部
「都市災害対策論」
越山健治 准教授

【なるほど・ザ・関大!】
数々の名勝負を演じてきた関大相撲部
その伝統の灯を次の世代へ

タイでのHappy New Yearは?
สวัสดีปีใหม่
サワディーピーマイ

パコーンスッティラット タラワンさん



スパイスと
ココナツの
濃厚な
本場の辛さ!

タイでの年末年始の休日の期間は?

お正月の休日の期間は日本と同じくらいですが、タイではソングクランという旧正月もあるため、毎年4月13日～4月15日も休日になっています。

【タイのお正月】

1月のお正月のときは、12月31日の夜から家族でお寺にお参りに行きます。タイでは「9」の数字が、発展という意味がある縁起のいい数字といわれており、お正月の期間中9つのお寺にお参りします。旧正月(ソングクラン)のときは、仏像に水を掛けてお清めをしたり、家族の年長者の手に少しの水を掛け、相手に敬意を示すという、非常に伝統的なスタイルで新年を祝います。しかし最近では、若者を中心にホースや水鉄砲を使った水掛け祭りへと変化しています。私の家では弟も留学しており、家族がそろう機会が少ないので、お正月の期間はよく家族旅行に出掛けます。

【今年の目標】4月から早稲田大学に進学します。入学後はイギリスへの留学や、世界各国へのボランティア活動に行き、子どもたちに語学を教えたいと思っています。



แกงเขียวหวานไก่

ゲンキャオ ワンガイ

タイで普段からよく食べられている定番料理で、お正月にも必ず食べます。タイは年間を通して気温が高いですが、1月のお正月のときは少し気温が低いため、カレーのスパイスで体を温めるとい理由もあります。



お正月の家族旅行の様子

留学生別科生に聞きました

年末年始を教

今回の特集では留学生の皆さんに、母国の年末年始を紹介していただきました。この機会に各国の慣習思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

ブラジルでのHappy New Yearは?

Feliz ano Novo!
フェリス アノ ノヴォ

ペレイラ ブルノ マルコミニさん



食べ応えのある
ガッツリ料理!

ブラジルでの年末年始の休日の期間は?

ブラジルはキリスト教信者が多く、クリスマスは非常に大切なお祭りであるため、クリスマスからお正月にかけて休日が続きます。

【ブラジルの年末年始】

クリスマスは家族で過ごしますが、お正月は主に友達と過ごします。カウントダウンが終わると、町中で花火が上がって新年を祝います。僕の家では、クリスマスとお正月に母がArroz Doce(アホース・ドーゼ)というお米を使ったスイーツを作ってくれます。また、南半球にあるブラジルでのお正月は真夏です。みんなで海に行き、波を7回飛ばせばその1年は幸せに過ごせるといわれています。その他にも、赤は幸運、黄色はお金、緑は希望、白は平和の意味があり、クリスマスやお正月には自分が望むものの色の服を着ることがあります。

【今年の目標】関西大学に入学するための試験に合格すること、富士山に登ることです。関西大学で法律を勉強し、将来は国際弁護士になることが僕の夢です。



ジョルジョさんも料理を手伝ってくれました

Arroz, Bisteca, Batata Frita, e Frango Desfiado

アホス、ビステカ、バタタ フリタ、エ フランゴ デス フィアド

ブラジルでは、お正月に豚肉を食べる習慣があり、丸焼きにするところもあります。豚は草を食べるときに鼻で土を掘り、前にしか進まないため、「1年が前向きになる」という意味で、縁起がいいとされています。



あなたの国の えてください

始の過ごし方を地元のお正月料理とともに
を知り、お祝いのご馳走を眺めつつ、世界に

韓国でのHappy New Yearは?

새해 복 많이 받으세요!
セヘ ボック マニ パドゥセヨ

金 宝倍(キム ボベ)さん



魚介のだしと牛肉から
出たうまみが染み出た
絶品スープ!

韓国での年末年始の休日の期間は?

1月1日より「ソルナル」という旧正月のほうが盛大で、今年は2月19日にあたります。前後を含めて3日間(2月18日～2月20日)が祝日になります。



【韓国のお正月(ソルナル)】

ソルナルには、家族や親戚が集まって伝統的な衣装を着て、先祖を敬う儀式「チャレ」を行います。その後、子どもたちは、年長者に対して、新年の挨拶の「セベ」と呼ばれる深いお辞儀をします。すると「トクダム」と呼ばれる相手の幸せを祈る言葉と一緒に「セベツン」というお年玉がもらえます。韓国の子どもたちはセベツンをもらうことをとても楽しみにしています。また、ソルナルでは「ユンノリ」という、サイコロの代わりに「ユック」と呼ばれる木の棒を使った日本の双六のようなゲームをして遊びます。

【今年の目標】日々勉強して日本語をもっと上手になることです。2016年の春には、日本の大学の経済学部に入りたいと思います。将来は、貿易会社に就職し、国際的な仕事をしたいと考えています。



金さんの子ども時代のお正月の様子



떡국

トック

トックはソルナルで必ず食べる最も伝統的な食事です。「トック」がうまみで作ったおもちで「トック」がスープという意味です。韓国では、ソルナルにトックを1杯食べて1つ年を取るといわれています。

中国でのHappy New Yearは?
新年快乐
シンネンクワイロウ

余 林玲(ヨ リンレイ)さん(写真右)
李 哲珺(リ テツクン)さん(写真左)



皮まで
手作りだ
モチモチ!

中国での年末年始の休日の期間は?

1月の元旦よりも春節と呼ばれる旧暦のお正月が盛大に祝われます。今年の春節は2月19日(木)で、約7日間の連休があります。

【中国のお正月(春節)】

中国の春節は、家族や親戚が集まってご飯を食べ、春節聯歡晩会(しゅんせつれんかんばんかい)という、日本の紅白歌合戦のようなテレビ番組を見ながらカウントダウンをします。その後は、みんなで外に出て、魔よけを意味する花火の打ち上げや爆竹を鳴らします。

私(余さん)の家では、ご飯を食べた後、みんなでマージャンをします。子どもたちも春節のときだけはマージャンをすることができます。私(李さん)は、祖父母の家に親戚が集まって新年を祝います。

【今年の目標】(余さん)日本語をもっと上手になって日本の大学に入学し、福祉の勉強をしたいと思っています。(李さん)私は現在、関西大学商学部で流通を学んでいます。来年はこの知識と日本語の能力をさらに深め、将来は身に付けたものを生かせる仕事に就きたいと考えています。



餃子

ジャウズ

餃子が半円形をしているのは、昔中国で使われていたお金が半円形だったことに由来しています。春節の定番として昔から食べられている料理なので、福を呼び込む縁起の良い料理として、このような形で作られています。中の具は家庭によってさまざまで、ニンジンや白菜、キノコなどを入れる場合もあります。



余さん家の麻雀



余さんのお正月の様子



余さんのお正月の様子

スペインでのHappy New Yearは?
Felicitaciones
フェリス アニ ノウ

ユサ バラベーチ イレーネさん
イレーネさん(写真左)
料理を手伝ってくれたメキシコからの留学生
ヘオルヒナ ベネガス イサクさん
イサクさん(写真右)



TORRÓ(トロ)は
固くて甘くて
アーモンドが
ざっしりして、
癖になる
おいしさ!

スペイン(カタルーニャ地方)での年末年始の休日の期間は?

新年の休みは12月31日と1月1日です。クリスマス期間、子供は3週間ほど休みがありますが、大人は12月24日の夜～26日。他に、1月6日のThree Wise Man(東方三賢人の日)が祝日になります。

【スペイン(カタルーニャ地方)の新年】

25日は、Zarzuela(多くの魚介類が入ったスペイン版ピヤベース)やSopa de Galets(ミートボールがたっぷり入ったパスタスープ)などを、26日には、Canelones(パスタに肉や野菜を包んだラザニアのようなもの)を食べます。また、カタルーニャ地方では、Caga Tioという風習があります。Caga Tioとは丸太で作られた人形で、見えないようにプレゼントやお菓子を大人たちが隠しておき、25日に子供たちが棒でCaga Tioを叩いてお祝いし、Caga Tioが「用を足して」お菓子とプレゼントを出してくれるのです。そして、31日は夜から友人たちとバルやディスコで集まり朝まで騒ぎます。1月6日のThree Wise Manは子供たちがプレゼントをもらえる日で、スペインではサンタクロースよりもThree Wise Manにプレゼントをお願いします。

【今年の目標】とにかく日本語の上達です。英語とドイツ語も話せるので、将来は、ヨーロッパで通訳や翻訳の仕事に就きたいと思っています。



Caga Tioの様子
(イレーネさんの子供時代)



TORRÓ

トロ

12月31日の夜から友人たちと集まり、Cava(カタルーニャ地方ペネデス地区で生産されるスパークリングワイン)を片手に、12回鳴るカウントダウンの鐘の音に合わせて、12個のTORRÓを口に入れていきます。来る12カ月を幸せに過ごせるようにとの願いが込められています。



Caga Tioの様子
(イレーネさんの子供時代)

トロは白い方のお菓子

イタリアでのHappy New Yearは?

AUGURI DI Buon Anno
アウグリ ディ ブオン アンノ

ラゴ ジョルジョさん

コテキノとレンズ豆を
一緒に食べると
すごく合う!



イタリアでの年末年始の休日の期間は?

新年の休みは12月31日と1月1日です。クリスマス期間は、学校は12月23日～1月9日くらいまでですが、会社は25日のみが休みになります。

【イタリアの新年】

イタリアでは、新年は友達と、クリスマスは家族と過ごします。新年は、12月31日の21時から食事が始まり、1月1日の深夜2時まで続きます。食事は4段階に分かれていて、スモークサーモンをパンなどにのせて食べる軽食に始まり、ラビオリの1種のCasoncelli alla bergamasca(ベルガモのカズンチェッリ)、次にコテキノ、最後にドライフルーツなどを混ぜて焼上げた伝統的なケーキ、パネットーネを食します。1つ食べ終わってから次の料理を作りますので、それぞれが得意な料理を作ったりして、おしゃべりをしながら楽しい時間を過ごします。新年になると公園や広場などで花火が上がります。各自でも花火を上げて盛り上がります。

【今年の目標】高校時代の実習で日本のことを調べるうちに日本に興味を持ち留学しました。今年は、関西大学の文学部に入学して心理学を学びたいと思っています。



Cotechino

コテキノ

コテキノとは豚肉の腸詰めのことです。「豊かさ」を表しています。レンズ豆は「幸運」「お金」を意味しており、たくさん食べて新年がラッキーな年になるようにとの願いが込められています。



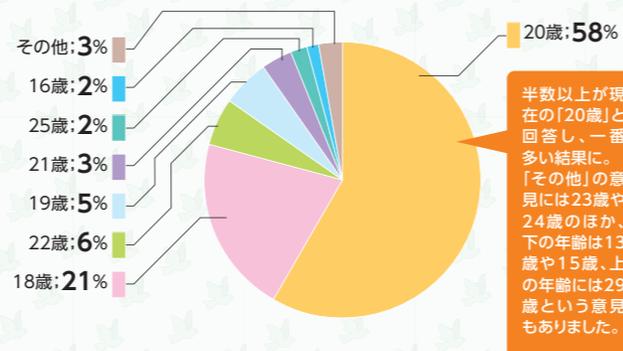
みんなで一緒に考えよう。関大誌上教室

「成人年齢」を考える

昨年6月、憲法改正手続きを確定させる憲法改正国民投票法が成立し、改憲の是非を決める国民投票の投票年齢が、4年後(2018年)に「満20歳以上」から「満18歳以上」に引き下げられることとなりました。これに伴い、選挙権年齢の「満18歳以上」への引き下げ検討や、内閣府による成人年齢の18歳への引き下げなどに関する特別世論調査も行われています。関西大学でも多くの新成人が誕生する1月に、関大生が感じる「成人年齢」について調査してみました。

【アンケート期間:2014年10月29日~11月13日
対象:関大生 回答者数:313人(男子150人 女子163人)】

Q1. 成人年齢は何歳がふさわしいと思いますか?



Q2. 国政選挙などで投票できる年齢の引き下げが検討されていますが、これについてどう思いますか?



Q.なぜ、そのように思いますか?

学部・学年	性別	回答
社2	女子	日本の未来のことを本気で考えている人は高校生でもいるから。
安全1	男子	18歳であれば、十分に善悪の判断能力や責任能力はあると思うし、少子化の中、若者の意見も政治に取り入れてもらえるから。
外1	男子	自分が社会の一員である自覚をまだ持っていない子どもたちが17歳で投票したりし始めたら国が壊れるから。
環都3	男子	年齢というより政治について考える時間、環境下でない。そういうところを改善せずに年齢だけ下げても意味がない。

Q3. 2012年、内閣府が喫煙・飲酒の年齢制限に関する特別世論調査を実施しましたが、これについてどう思いますか?



Q.なぜ、そのように思いますか?

学部・学年	性別	回答
法1	女子	喫煙・飲酒年齢は成人に合わせているだけの感じがするため。
安全3	男子	高校を卒業すると大学に進学してもしなくても、喫煙や飲酒を勧められる機会が増えるので、法律で認めた方がよい。
社4	女子	健康に害があるから。また、勉強をする場所である学校の環境が悪くなることも考えられる。
情4	女子	大学や社会に入ることにより、実際に喫煙・飲酒の現場に触れ、どういうものかを知るべきであると感じたため。



OPINION OF PROFESSOR
法学部 西村 枝美教授

日本には、「成人」の他に「社会人」という言葉があります。ひょっとしたら、学生の皆さんにとっては、ほぼ同じイメージなのかもしれません。ですが、学生の間は「社会人」ではないのか、と思いませんか。仮に、選挙権が引き下げられ、その年齢層の投票率が100パーセントだとすると、各政党がこぞって、その年齢層に

訴える政策を立案してくると思います。皆さんには実現したい政策はありますか。また、憲法はこの国の基本構造を決めているルールなので、その改正をさかどうかには、できるだけ、次世代を担う層まで参加して決めるべきだと思いますし、日常的な政治についても、日本の社会を構成している人が広く参加できるようにする、というのも悪くない考え方だと思います。選挙年齢が引き下げられた瞬間、日本全国の学生から構成される団体を支持母体とする政党が国会で50議席(衆議院で予算を伴う議案提出は50人必要)くらい占めたら、などと想像してみてもいいかもしれません。

Q4. 「成人」とは、どのような意味を持ち、どのようなイメージを持っていますか?

立派な人になってからこそ成人になるのだと思います。立派な人とは、自分一人で生活ができ、自分の言葉や行動に責任を果たすことができ、すぐ諦めるのではなく、前に向かって進むことができる人だと思います。(文3・女子)

特に何も変わらない、ただ年を取るだけ、ちょっとした儀式というか節目はあるがただ年を取るだけ、何も変わらない。(経3・男子)

「成人」は大人になった証し。周りからは大人と言われるようになるけれど実際はまだまだ子供のままだ、というイメージ。(社3・女子)

成人とは周りに迷惑をかけずに人との関わりを一層大切にしなければならないという意味を持つ。高校生のころは、お財布の中に1万円以上入っているイメージでした。(商4・女子)

自分の人生を振り返り、自分という存在についてきちんと認識し直し、今まであやまっていた「社会人としての責任」を正しくに自覚し始める年齢。(社2・男子)

文字通り「人に成る」を示すように社会に生きる人としての最低限の常識、知識を持っており、それを正しく行動に移せる人間のこと。(シス理3・男子)

人として自立すること。さまざまなことが許可されたことにより、今まで以上に節度を持って他人と支え合っていることを意識して生活すべきだと思う。(政策4・女子)

自分の力で生活をしていけるようになって初めて成人といえるのではないかと。実際には、20歳といってもまだ学生である人が多く、誰かに守られて生きていると感じている人が多いのではないかと。 (理工学研究所M1・男子)

成人年齢の高い国・地域 / 低い国・地域

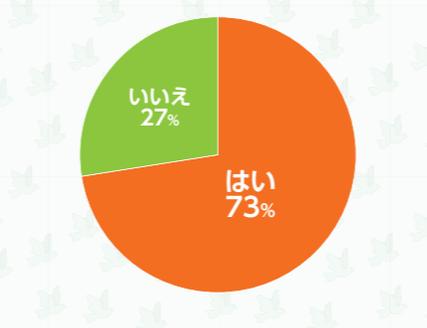
世界の大半の国・地域が、成人年齢を18歳と定めています。

成人年齢が高い国・地域	成人年齢が世界でも低い国・地域
21歳 アルゼンチン・エジプト・シンガポールなど	17歳 朝鮮民主主義人民共和国など
	16歳 ネパールなど

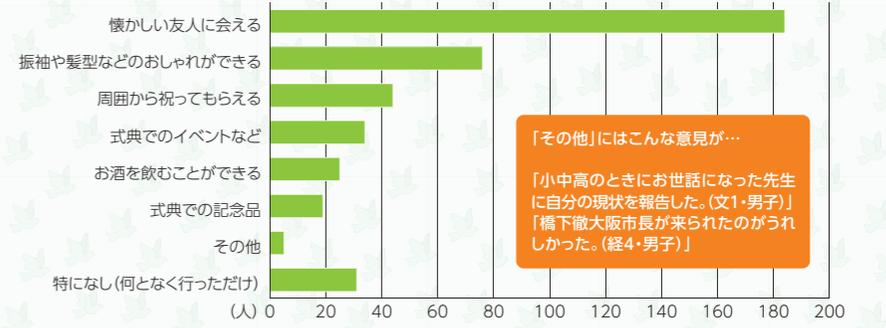
日本では……
20歳といえば、選挙権という政治の世界への参加権も重要ですが、成年は20歳と規定している民法が持つ意味も重要です。財産管理や契約、結婚が法定代理人(親など)の同意なくできるようにする年でもあります(20歳になったら、うっかりハンコを押してはいけません)。成年が20歳になったのは明治初期。理由の一つに、当時の日本人の平均寿命の短さ(43歳程度)があったようです。

出典:法務省ウェブサイト

Q5. 成人式には行きましたか? (行こうと思いますか?)



Q6. 成人式に行って楽しかったこと(楽しみにしていること)は何ですか? (複数選択可)



次号のテーマは…「日本の良さ」を知っていますか?

東京五輪を5年後に控え、日本のさらなるグローバル化が進んでいます。来日する外国人に、日本はどのように映っているのでしょうか。はたまた外国人と接する機会も増える日本人が心得ておくことは!? 次号の「関大誌上教室」では、日本人学生と、関大で学ぶ外国人留学生が考える日本の良さ・悪さを比較します。

1月号「関大誌上教室」アンケートプレゼント当選者の発表について

今号の「関大誌上教室」アンケート「成人年齢」を考えるにご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。プレゼントの発表は、当選者のみ、インフォメーションシステム「個人伝言」で連絡します(1月7日に通知予定)。「関大誌上教室」のアンケートは次号以降も行う予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。



放送業界 / 報道記者

株式会社 毎日放送
報道局ニュースセンター記者

吉川元基さん

京都府立南陽高等学校 出身
2012年 政策創造学部 卒業



さまざまな生き方を送ってきた
人たちとの出会いが
私をジャーナリズムの世界へ導きました。

入社後2年、東京支社でのCMセールスの業務を経て、本年度7月に本社報道局へ転属となった吉川元基さんは、かねてから報道記者を目指していました。現在は遊軍として、事件や災害をはじめイベントまでジャンルに関係なく取材に走っています。時には政治的な問題やデリケートな問題にも直面しますが、真剣に取り組み、結果として取材先に喜んでもらえることが、やりがいになるそうです。

吉川さんが記者になりたいと思ったのは大学生のころ、関大近くのアパートでの暮らしが原点。6畳一間で、浴室、洗面、トイレなどは共同というそのアパートは家賃の安さもあり、幅広い年齢層の人たちが60人ほど共に生活していたとか。居住者に学生は少なく、貧困に苦しむ人や生活保護受給者など、さまざまな事情を持つ人々がたくましく生きている姿に、吉川さんは心を揺さぶられました。その経験は今、「大学時代に味わった世界観を1時間のドキュメンタリーとして制作したい」と思っています。貧困や、その中で生きる希望など、暗くなりがちなテーマを言葉や表情などを通して、人としての力強さに満ちた、どこかユーモアも感じられるものにしたい」という夢に進化しています。

「記者を目指す人には、新聞をできれば数紙、読んでほしい」と、物事を知り、情報を得ることの大切さをアドバイスしてくれる吉川さんのアンテナは、外出先でも、休日でも、どこかにテーマはないものと休むことなく、常に張り巡らされているのです。

ある1日の
スケジュール

8:00 出社 昼のニュース取材
11:00 原稿作成
11:30 オンエアチェック
12:00 昼食・休憩
12:30 夕方ニュースの取材
17:00 原稿作成
17:30 オンエアチェック
19:20 反省会
20:00 退社



携帯電話、スマホ、筆記用具はもちろん、どこでも原稿を書けるようノートPCは必需品。取材先などと交換することが多い名刺は、普段は2つの名刺入れで使い分け。

※次号(3月号)は卒業記念特別号のため、次回の「働く関大人」は4月号での掲載となります。

Journalist



「都市災害対策論」

越山健治 准教授

都市災害対策の歴史から、災害特性と対策技術を考察する。

都市災害の歴史を振り返り、現在の都市災害対策の手法と課題を理解。
さまざまな角度から災害対策の知識を習得します。

専門演習に向け2年次生を対象に、変化していく災害の形とその対策技術の歴史をひもとく、都市の安全性を保つための対策手法の内容と課題を、被害予測・土木計画・行政計画・都市計画など多面的な観点で講義。都市安全の現状把握や災害対策の全体像を捉える知識の習得を目的とするのが、越山健治准教授の授業「都市災害対策論」です。

具体的には関東大震災、戦災、伊勢湾台風や阪神・淡路大震災、そしていまだ記憶に新しい東日本大震災など大きな災害が、都市に住む人々の暮らしにどのような影響を与え、その後の災害対策を含め、都市自体にどんな変化をもたらしたかを時代を追って考察します。「この授業で学生が自分なりに都市の持つ危険性・安全性を読み解けるようになり、身近な都市の災害に対する施策を知るなど、日頃から意識できるようになれば」と越山准教授は言うのです。ややもすれば住民さえ忘れていた地域の災害の歴史。自然との共存にはどうしてもリスクが内包されており、たとえ過去や他都市での災害や被害を参考にして被害予測をし、災害対策を講じたとしても限界はあります。だからこそ、学生には過去になされた災害対策の多くの要素を組み合わせ、多方面から検証できる力を持ってほしいそうです。そのために学生の反応を観察し、被害予測など関心が高く興味深く聴いている部分については話を広げ、時には脱線を交えながら講義をしているのだとか。

くしくも東日本大震災が発生した2011年から始まったこの授業。来年度からは講義名を変えて開講されるということですが、越山准教授の望む「都市・地域との関わりの中で、災害対策を少しでも意識し、理解・発展するための知識として生かすことのできる人材の育成」は変わらぬ目標なのです。



山村紀香さん(2年次生)

生後4カ月の時に西宮で阪神・淡路大震災を経験し、周囲からずっと被災体験を聞いて育ちました。東日本の震災を機にさらに、地震について学びたいと思ったのが、この授業を選択した理由です。



今泉堅吾さん(2年次生)

昨年の台風の時、地元枚方で淀川がもう少しで氾濫しそうになったのを目の当たりにして危機感を覚え、この授業を選びました。「日本の都市防災対策」や「日本の街の抱える課題」を学びたいのであれば、この授業がおすすめです。



社会安全学部 越山健治 准教授

災害が起こるたび、都市災害がクローズアップされ、その対策について見直される機会が多い中、「都市が過去にどのように安全維持を実現していたのか」、「現在の都市の持つ課題」、そして「将来の都市災害対策のアプローチ」について知識を深め、学びたいと思う人に、受講してもらえればと思います。



数々の名勝負を演じてきた関大相撲部 その伝統の灯を次の世代へ

関西大学で最も古いクラブの一つで、創部から100年を優に超える伝統ある関西大学体育会相撲部。

その歴史の中で、団体戦、個人戦ともに幾度となく優勝などの輝かしい成績を残してきました。

戦争や大学紛争などの危機を乗り越えてきた相撲部も、今、選手は4年次生の中野さん一人きりというのが現状です。伝統と歴史を引き継ぐ人材を探すため、今一度、相撲部の歴史を振り返り、その魅力を検証したいと思います。

関西法律学校創立から程なく活動を開始したと言われる関西大学体育会相撲部。学生相撲人気の高まりも相まって、明治39(1906)年に完成した福島学舎のグラウンドの一角には土俵が設けられました。



福島学舎の土俵



全国学生相撲大会での
関西大学応援団

明治43(1910)年に、当時個人戦のみであった第1回関西学生角力選手権大会が開催されると、第1回、第2回連続で谷口(戸部)照永さんが、第4回は山本倉一郎さんが優勝を飾るなど、その活躍は目覚ましいものでした。



第1回関西大学相撲大会

※写真は年史編集室蔵

大正8(1919)年から堺大浜で大阪毎日新聞社主催の全国学生相撲大会が始まり、第3回で団体準優勝、福井清吉さんが学生横綱、第5回で竹田繁七さんが学生横綱、団体4位、第6回大会で団体優勝と、常に優秀な成績を残しています。



福井清吉さん



竹田繁七さん



優勝旗

昭和32(1957)年の第35回大会には、33年ぶりの快挙となる団体優勝を果たし、第40回大会では平野孝行さんが学生横綱となり、第一グラウンドの特設土俵において、満員のスタンド・グラウンドおよび周辺に3,000人以上が集まる前で雲龍型の土俵入りを披露しました。



団体優勝



平野孝行さん

※写真は年史編集室蔵

戦後、荒れ放題だった道場は、昭和30年代初頭にOBが廃材を持ち寄り修復。その後、昭和44・45(1969-1970)年の大学紛争以降は学内での宿泊が禁止され、稽古と正課体育の相撲の授業のみでの使用となり、土俵以外の損傷が目立っていましたが、平成13(2001)年9月に他大学に引けを取らない道場が新設されました。



体育会相撲部
中野晃希さん

(社会安全学部4年次生)

たった一人の関大力士・中野さん。 彼は、まだ見ぬ後輩に夢を託します。

相撲好きな父の影響から、3兄弟皆子供のころから相撲が好きで、小学生のときに出た、市のちびっこ相撲大会で1学年100人くらいの中から優勝し、相撲道場に誘われて、本格的に相撲を始めました。

それまでは個人戦に出場してきたのですが、大学に入り団体戦にも出るようになって、部員皆でどうしたら勝てるか話し合い、練習に打ち込み、一致団結して協力する楽しさを知りました。4年次になって、選手は私1人だけになってしまいましたが、大学院生の先輩と練習をしています。

「西日本学生相撲個人体重別選手権大会」ですと「優勝する」と言い続けていたのですが、ベスト8までしかいけず悔しい思いをしてきました。4年次生になって開き直って臨んだのが良かったのか、準優勝することができ、相撲を続けてきて良かったと思いました。これまで試合のたびに応援に駆け付けてくださったOBの方々に喜んでもらえたのがうれしかったです。これから入ってくる後輩には、私が最後まで取れなかった体重別のタイトルを是非取ってほしいと思います。



左奥が中野さん 写真提供：関大スポーツ編集局

12月号のなるほど・ザ・関大 「超難問!関大クイズ!」の正解

- 問1.d 問2.c 問3.d 問4.c 問5.a
- 問6.a 問7.d 問8.d 問9.c 問10.a



環境都市工学部3年次生

堀井 登文さん

自分の商材とは何だろう。その疑問から将来像を見つけました。



堀井さんが制作した家具

堀井さんの自宅には、自作の家具がいっぱい。廃材を利用して作られたという家具たちは味わいも深く、魅力に満ちて、その存在感はピカイチです。

今回は、堀井さんからのご紹介で吹田クリエイティブムーブメンツ(SCM)代表の辻旺一郎さん(社2)が登場。お楽しみに!

※次号(3月号)は卒業記念特別号のため、次回の「今月のシンクさんアクトくん」は4月号での掲載となります。

店舗設計からインテリアコーディネートなど空間デザイン全般と廃材からの家具作り。それが現在、環境都市工学部の堀井登文さんが夢中になっていることです。

いろんなことに積極的にチャレンジし、バイタリティーにあふれた堀井さんは、卒業後は知識を得るために設計事務所への就職を希望しているものの、特に一般的な就職活動にとらわれることなく、現在のさまざまな取り組みに力を注いでいます。

その一つが、関西大学の近くにある学生向けの賃貸マンション「横山第4マンション」をリノベーションし、学生シェアハウス「ヒルサイド横山」へと生まれ変わらせるプロジェクト。地元企業の依頼を受け建築学科生と堀井さんが、設計、施工の打ち合わせ、広告、入居者探しまで全ての業務に携わっているそうです。現役の関大生が、同じ学生のために。それはきっと、ただ「住まう空間」ではなく、学生同士のコミュニケーションを深められる「居心地のいい空間」に違いありません。「設計などは3日3晩徹夜しても平気です。はっきりとした答えがない作業なので、その時点での自分のベストを尽くします」。堀井さんにとっては、苦労もやりがいに変わってしまうようです。

もう一方で、夢中になっている家具作りにも時間を惜しむことなく、廃材を集め、構想を練り、形にしていくという一連の作業に手は抜きません。それは、自身の将来を考えて出した答えのため。堀井さんは「自分の商材は自分で。自分でいいと思うものや好きなものを自分で作って売ろう。建築を売ろうと考えた」と言います。そのために人の意見に耳を傾け、自分の得意な分野に限らず、いろいろな体験をして経験値を高めているのだとか。「理系っぽい」「文系っぽい」といった偏見に左右されることなく、こだわりを捨てて力を合わせ、何かを作れたら。「視野を広げて、より良いものを作りたい」という堀井さんのあふれる才能と情熱は、将来、必ず大きく実を結ぶことでしょう。



Takafumi Horii

学部・研究科トピックス

法学部 / 法学研究科

期末試験に向けて

今年度の学園祭は、2014年11月1日～4日の日程で開催されました。一昔前の学園祭では「自治」「自由」などの言葉があふれていましたが、表面に表れていなくても、これらの精神は「祭り」の底に脈々と受け継がれていると信じたいです。この後は、いよいよ期末試験。「自治」「自由」の精神を発揮して、期末試験を乗り切ってもらいたいです。大切なのは、①時間は自分で管理すること、②選択の結果には自分で責任を負うこと。試験では勉強の結果がそのまま表れます。そこにミラクルはありません。

(副学部長 高作正博教授)

文学部 / 文学研究科 東アジア文化研究科

EUワークショップを実施

2014年10月31日～11月10日、文学研究科専攻「EU—日本学」はヨーロッパの大学院生との研究交流を目的に、チューリッヒ、ルーヴン、デュッセルドルフ、カレルの各大学において「EUワークショップ」を実施。参加者は20人程度から



最大で60人近くに上り、熱気あふれるワークショップとなりました。
(芝井敬司教授)

経済学部 / 経済学研究科

経商合同学内ゼミナール大会の開催!

2014年11月19日に「経商合同学内ゼミナール大会」が開催されました。ゼミナール協議会の学生主体で運営する伝統行事で、プレゼンテーションを競い合う「プレゼンテーション部門」、日頃の研究成果を報告する「ゼミ発表部門」、ゼミ活動を公開する「公開講義部門」、そして2つのゼミが討論を行う「ゼミ討論部門」があります。各ゼミが競い合う研鑽の機会であるとともに、1年次生にとっては、ゼミ選考に向け各ゼミの取り組みを知ることができる貴重な機会となりました。

(教学主任 佐藤方宣准教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

商学部 / 商学研究科

CORES2014を開催しました

今年で8年目を迎えるCORES (Core Skill Program)の報告会が2014年12月20日に開催されました。当日は商学部2年次の10ゼミがグループワークを通じて洗練させたビジネスプランを多数の学生・教員の前で発表し、会場は3時間



にわたって緊張と熱気に包まれました。
(岩本明憲准教授)

社会学部 / 社会学研究科

メディア専攻の学生が大阪マラソンで活躍

メディア専攻3年次生の学生7人が、大阪市商店会総連盟が大阪マラソン32.5km地点で行う給食サービス「まいどエイド」をPRするため、数カ月

にわたって商店街を取材。大阪マラソン当日も、取材の傍ら商店街の方々と共にまいどエイドに参加し、読売新聞に学生たちの記事と、活躍ぶりが掲載されました。大学で学んだことを実践し、社会に向けて発信していくことは、学生自身の成長につながるだけでなく、地域の活性化にもつながることを期待したいと思います。

専門職大学院トピックス

法科大学院

「弁護士法人あしのは法律事務所」が開設されました。

2014年11月、法科大学院の実務家教員が代表弁護士を務める「弁護士法人あしのは法律事務所」が開設されました。

法科大学院では、同法律事務所と密接に連携し、教育体制や就職支援体制の充実等、法科大学院在生および修了生の支援体制充実を強力に推進していきます。「法科の関大」復活に向けた取り組みは、まだまだ続きます。

復活に向けた取り組み等については、法科大学院ウェブサイト

(http://www.kansai-u.ac.jp/ls/index.html)にてご確認ください。

(法務研究科長 早川徹教授)

併設校トピックス

関西大学第一中学校

中学2年生 研修旅行「自然教室 11/4～7」民泊送迎バスに絵を描く

中学2年生は、和歌山県の日置川地域で民泊やほんまもん体験、ボランティア活動を実施しました。南紀州交流公社の民泊送迎バスに、美術部員がデザインした絵を描いたり、日置川地域に伝わる日置川小唄を彫刻したり、駅舎のベンチを塗ったり、さまざまな活動を行いました。日置川小唄の彫刻は駅舎に設置されます。最終日は、JRから特別に臨時特急列車を出していただき、新大阪駅まで帰りました。今回の自然教室を通して、貴重な経験をすることができました。



(第2学年教諭 吉村真也)

政策創造学部 / ガバナンス研究科

台湾記者によるシンポジウム

坂田記念ジャーナリズム振興財団や毎日新聞社などが2007年から行っている海外ジャーナリスト招待事業として、今年度は台湾から青年記者を招き、2014年12月9日、本学でシンポジウムが開かれ、私もパネラーとして参加しました。「台湾のマスメディアと最近の政治潮流」というテーマで、民視テレビの相振為記者が登壇し学部生も多数聴講しました。香港の学生デモとの関連や、最近の地方選で与党国民党が大敗したことのさまざまな要因を説明し、活発な質疑応答も行われました。

(深井麗雄教授)

外国語学部 / 外国語教育学研究科

今年の目標達成を協働で

また新しい1年が始まりました。元旦には、それぞれどのような目標を立てたでしょうか。目標倒れで終わってしまうことも多々ありますが、今年はぜひ、「有言実行」したり、目標を誰かと共有し一緒に達成するなどして、いつもと違う1年してみてください。外国語を扱う学部・研究科で学ぶ皆さんには、目標実行の重要性、またその難しさはよく理解できることと思います。縁あって同じ時期に同じ学舎(まなびや)にいる仲間と、ぜひ協働で目標を達成し、ゴール地点での景色を見てみてください。

(池田真生子准教授)

人間健康学部 / 人間健康研究科

鬼に金棒

人間健康学部では、健やかにたくましい学生の育成を行っています。先日初めて講義を担当しました。現代の学生は、単位取得を優先して受講することが多いのですが、本学部の学生は、授業中も試合中のように真剣に打ち込んでいました。競技活動などで精神的に鍛えられた学生たちが物事に真面目に打ち込めば、鬼に金棒です。社会に出てくじけそうなきでも立ち上がり、一歩前進するでしょう。着任してまだ日が浅いですが、人間健康学部の学生諸君にはこれからも常に前を向き、前進してもらいたいと考えています。

(雑古哲夫教授)

総合情報学部 / 総合情報学研究科

総合情報学部「学部講演会」をご存知ですか?

総合情報学部ではさまざまな講師の方を招き、講演会を実施しています。1月にはそれぞれ、大阪市経済戦略局の角勝氏による「大阪から世界へ発信:ITイノベーションの今」と、株式会社関総研アドバイザーの税理士・北川賢司氏による「仕事も人生も愉しむことができる経営者的人材に育つ仕組みづくり」というテーマで2回の開催を予定しています。学部講演会は、総情生であれば誰でも参加できます。実施日時など、詳細な情報は総合情報学部HPでお知らせしています。ぜひ積極的に参加してください。

(高槻キャンパスオフィス)

社会安全学部 / 社会安全研究科

卒業研究中間発表会を開催

社会安全学部では、卒業論文作成に向けた研究室活動を3年次より開始しています。10月29日に、各研究室から3年次生1グループずつが参加して中間発表会を開催しました。研究室活動を始めて半年余りですが、卒業論文のテーマ、見据えた課題の発掘、基礎理論の学習、先行研究の検討、予備実験の結果などを、多くの教員や学生の前で発表しました。教員からの厳しい質問に戸惑う場面もあったと思いますが、今回の経験をばねに卒業論文作成へ向けにより一層研究に磨きをかけてほしいと思います。

(入試主任 山川栄樹教授)

システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部 / 理工学研究科

一年の計は1月にあり!

「一年の計は元旦にあり」これは「月令広義」の中で示された「一日の計は晨(あした)にあり、一年の計は春にあり、一生の計は勤にあり、一家の計は身にあり」に由来し、晨とは朝を意味し、全体として、「一日は朝の計画で決まり、一年は年の初めの計画で決まる。一生は真面目に努めることで決まり、一家の将来は身の振り方(生き方)で決まる」という意味だそうです。これを聞いたとき、私は、何事にも早めの「計画」と直向きな「実行」が大切なのだと実感した記憶があります。また、「深い」精神も必要なのだと心に

留めました。

昨年、「夢」や「目標」を持ちなさい」と若い方に話をされているのをよく見聞きしますが、大学生で自身の5年後を想像するのは難しいでしょう。このようなときでも、早めの「計画」と「実行」は大切となります。1月中旬から、秋学期の到達度の確認と定期試験が始まります。早めの計画と準備・実行で乗り切りましょう。また、卒業論文や修士論文の提出の時期も近づいています。結論を導き出し、論文という一つの成果にまとめる難しさと、その意義を感じてください。

1月22日(木)・23日(金)に、第19回関西大学先端科学技術シンポジウムが千里山キャンパス100周年記念会館で開催されます。本学理工系の研究力が再確認できる良い機会です。まだ研究を始めていない学部生にもご覧いただくと、5年後の自分を少しは想像できるのではないのでしょうか。「一年の計は1月にあり」、早めの準備と計画を心掛け、次のステップにつなげてください。

(化学生命工学部入試主任 松村吉信准教授)

Attention 大学からの重要なお知らせ

春季休業期間中の注意事項

—有意義な春休みを過ごすために—

悪質商法に注意!

昨今、全国各地の大学生の間で実際は何の価値もない商品やサービスを高額で購入させる悪質商法(ネットワークビジネスなど)が流行しています。たとえ親しい友人や知人から勧誘を受けても、少しでも怪しいと感じたら安易に応じないようにしてください。

関大生としての自覚を忘れずに!

サークルやゼミ、親しい友人らとの旅行やコンパなどを開催した際は、周囲の人々や環境への配慮を怠らないでください。誰か一人の軽薄な行為によって、大学の名誉や信用を失墜させる事態を招く場合もあります。関大生としての自覚を忘れず、良識ある行動を心がけるようにしてください。

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

大麻や覚せい剤といった違法薬物はもちろん、脱法ハーブや合法アロマリキッドなどの「危険ドラッグ」を安易に使用等することは絶対にしないでください。あなた自身の健康や健全な学生生活を守るためにも、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

関大トピックス

第1回政策創造学部生による 政策提言シンポジウムを開催

2014年11月28日、千里山キャンパスBIGホール100で、政策創造学部が第1回政策創造学部生による政策提言シンポジウムを開催しました。今回は「わがまちの「再生」から「成長」へ～学生と考える千里ニュータウンの未来～」をテーマに、岡本哲和教授のゼミ生が専門演習1の授業の一環としてシンポジウムを担当し、当日は政策創造学部生や一般市民の方約150人が参加しました。

シンポジウムでは、始めにゼミ生から千里ニュータウンの現状報告があり、住区域に調査した結果をもとに、建物の老朽化や千里ニュータウンが抱える高齢化問題、高齢者と建て替え後に入居した若い世代との世代間の二極化に起因する問題の発生などの報告がありました。

次に、現状の問題点を解決するために「SENLINK(センリンク)」と名付けた関大生が地域で活動するための組織を創る、という政策提言がありました。近隣センターにSENLINKの活動拠点を置くことで、関大生が千里ニュータウンにとっての有用資源となり、子育て支援の直接的アプローチや、千里ニュータウンの各種イベントに関大生が協力するという間接的アプローチの手法について提案がありました。また、現状報告と政策提言後にはパネルディスカッションが行われ、パネリストには前池田市長の倉田薫氏を招き、政策創造学部政策学科長の白石真澄教授、ゼミ生2人の計4人で千里ニュータウンの成長について議論しました。

最後に、シンポジウムを担当したゼミ生全員が登場し、まずは参加者に謝辞を述べ、テーマに関しての今後の抱負を述べて終了しました。



パネルディスカッションの様子

年史編纂室特別展 「勇気と感動をありがとう! 高橋大輔さん」を 開催中

本学が世界に誇るトップフィギュアスケーター、体育会アイススケート部の高橋大輔さん(文学研究科M2生)の特別展「勇気と感動をありがとう! 高橋大輔さん」が12月1日から、千里山キャンパス簡文館2階 博物館常設展示室にて開催されています。高橋さんが2010年のバンクーバーオリンピックで獲得した日本男子フィギュア初となる銅メダルや、世界選手権大会の金メダル、高橋さんが実際に着用した演技衣装などを展示。また等身大パネルも展示され、記念撮影も行えます。来館者は12月1日の展示開始以来1,000人を超え、遠方からの一般ファンも多数訪れています。これまでの栄光の軌跡を間近に見られるチャンス。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

【会期】2015年1月17日(土)まで
午前10時～午後4時

【休館日】日曜・祝日
(ただし1月11日(日)、12日(月・祝)は特別開館)

【会場】千里山キャンパス 簡文館2階
博物館常設展示室

【入館料】無料



体育会サッカー部の和田篤紀さん、 内田恭兵さんが京都サンガF.C.へ加入決定

体育会サッカー部の和田篤紀さん(社4)と内田恭兵さん(経4)が2015シーズンからJリーグ京都サンガF.C.の選手として加入することが決定しました。

和田さんは正確無比なパスからチャンスを演出し、攻撃的なポジションならどこでもできるユーティリティーを併せ持ち、また、高いテクニックを武器に、セットプレーでもキッカーを務めチャンスを生み出すことができる選手。「幼い頃からの夢を京都サンガF.C.でかなえることができ、大変うれしく思います。今まで支えてくれた全ての方々へ感謝し、1日も早くピッチに立てるよう、サンガの勝利に貢献できるように全力で頑張ります」と決意を語っています。

また、内田さんは、左右両足から放たれる正確なクロスでチャンスを生み出し、高い身体能力を生かした守備に加え、抜群のスピードを武器にサイドを駆け上がる攻撃的なサイドバックです。「子どもの頃からの夢だったプロサッカー選手になれることを大変うれしく思います。今まで支えてくださった皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、来年からは、京都サンガF.C.の選手として、チームの勝利のために精一杯頑張ります」と抱負を語っています。



内田恭兵さん

和田篤紀さん

(写真提供:関大スポーツ編集局)

関大人 四方山話 ◆「生徒から学生へ」 社会学部 清水和秋教授



気になる言葉遣いの一つに「生徒」があります。大学生たちが、周りの学生のことを「学生」ではなく「生徒」たちはと、そして、自分のことを「生徒」とも言うのです。数年前から気になり、「学生」と呼びかけるように気を付けてきたのですが、先日、思わず「うちの生徒たちは」と声を出してしまいました。高倉健の訃報に接し「とめてくれるおっかさん、背中銀杏が泣いている。男東大どこへ行く」というキャッチフレーズに埋め込まれていた不思議さを思い出しました。東大生ですら、

精神的自律が危なくなった時代だったのではないのでしょうか。大学に入学する際、いとこからフロムの「自由からの逃走」を勧められました。学園紛争も終息に向かいつつありましたが、高校での学びから大学での学びの違いに多少とも意義を感じた時代だったからこそ「学生」にはこだわりがありました。古典的な学生モデルはとっくに消滅したようです。でも希望はあるようです。卒論を自律的に仕上げた時には、自分のことを「生徒」ではなく「学生」と呼ぶようになり始めるからです。

編集後記

2015年がスタートしました。皆さんはどんな年末年始を過ごしましたか?特集で紹介されていた各国の料理はどれもおいしそうでしたね。わが家では毎年大みそかに、祖父母の家ですき焼きを食べるといふ「風習」があります。なぜすき焼きなのか、特に理由もないのですが、毎年のことになるとやっぱり期待してしまうものです。何より、すき焼きを囲んで家族で楽しく過ごすというのが楽しみなのだと思います。各国の料理を眺めながら、そこに集う人々の笑顔を思い浮かべていました。(広報委員・文学部准教授 森勇太)

今月の表紙: KUブリッジの皆さん: 井戸川真子さん(社2)、鈴木雅人さん(社2)、古川渚彩さん(商1)、鈴木香帆さん(文3)、木村亮太さん(環部2)、岡野智之さん(商4)、大橋彩音さん(社4)、楊家榮さん(商学研究科M1)、中村ねねさん(政策1)、大場喬人さん(環部1)、谷辻宗謙さん(社3)、小澤茜さん(文4)、鈴木達也さん(法4)、東山恭子さん(文4)、廣田夏帆さん(経1)



関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日: 2015年1月7日(年9回発行)

発行: 関西大学広報委員会

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

電話: 06-6368-1121(大代表)